

# どうする!

八代市厚生会館

## シンポジウム

第2弾

参加無料

～みんなで考えたい  
未来とこの街～

日時 2023年7

30[日]

14:00～16:30

会場

桜十字ホールやつしろ  
大会議室A・B

申込み締切 7

28[金]

### 内容

〈前半〉

#### ■ 基調講演

『芦原義信と八代市厚生会館について』

渡邊 研司 (DOCOMOMO Japan 代表)

『八代市厚生会館を使い続けることの意味』

鯨坂 徹 (DOCOMOMO Japan 副代表)

〈後半〉

#### ■ パネルディスカッション

『八代中心市街地について』 原田 聡明 (元八代市職員)

『歴史まちづくりについて』 鄭 一止 (熊本県立大学准教授) 他

※参加ご希望の方は**事前申込み**が必要です。(会場の人数制限があるため)

参加申込み先: 八代市厚生会館のホール再開を求める会 事務局 080-2747-1838 (笠井)

後援/NPO法人熊本まちなみトラスト

# 講演者・パネリスト紹介



## 渡邊 研司

1961年福岡市生まれ。87年日本大学大学院理工学研究科修士課程修了。芦原建築設計研究所で公共施設及び都内事務所ビルの設計を担当。1993年-98年、AA Graduate School 留学。帰国後、イギリス近代建築運動に関する研究で博士(工学)号。2005年東海大学助教授。2011年より現職。2018年より一般社団法人DOCOMOMO Japan 代表理事。著書に『論文はデザインだ』(彰国社)、『スケッチで学ぶ建築文化史』(理工図書)。訳書として『オーヴ・アラップ 20世紀のマスタービルダー』(東海大学出版部)がある。



## 鯉坂 徹

1957年名古屋生まれ、小中高は大阪府内、1983年早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了し、三菱地所株式会社一級建築士事務所勤務。2001年に分社化により株式会社三菱地所設計。2013年に退社し鹿児島大学工学部建築学科教授に着任、主に建築設計を教え2023年3月に定年退官。現在、加世田麓重要伝統的建造物群保存地区で鯉坂建築研究所を主宰、DOCOMOMO Japan副代表。主な作品に、シラスコンクリート住宅(2023年作品選集/JIA優秀建築選)、衆議院新議員会館(JIA優秀建築選)、国際文化会館本館再生(日本建築学会賞業績/作品選集 BELCA賞 GOOD DESIGN賞)、明治安田生命ビル街区再開発(2010年日本建築学会業績賞/作品選集/AACA賞)等。



## チョン イルジ 鄭 一止

韓国・大邱生まれ。ソウル市立大学卒。東京大学大学院にて博士号取得。2012年より神奈川大学にて助手・助教を務め、2017年より現職(熊本県立大学 環境共生学部 准教授/熊本まちなみトラスト副理事長)。歴史的まちなみづくり、社会遺産を活かしたまちづくり、DIYまちづくりなどについて研究・実践中。熊本市景観審議会委員/熊本市歴史まちづくり協議会委員/熊本県建築審査会委員。



## 原田 聡明

1952年八代市生まれ。1978年3月熊本大学大学院工学研究科修士課程修了。同4月八代市役所入所。建築課、企画課、教育文化センター建設準備室併任(現市立博物館の前身)、熊本県都市計画課派遣後、八代市教育委員会文化課にて八代妙見祭笠鉾等基本調査および修復に従事。文化課長、博物館副館長、防災危機管理課長、建築住宅課長を経て、2013年3月環境部次長で定年退職。このほか2007年から2016年まで熊本大学教育学部社会共生講座、文化財保護学を、2013年から2023年まで崇城大学工学部建築学科で日本建築史ほか非常勤講師として担当。日本建築学会九州支部歴史意匠委員会委員、日本民俗建築学会評議員。